

回答書(参加表明以外に関する質問)

件名:Jヴィレッジ新宿泊棟新営工事(実施設計・施工一括発注)公募型プロポーザル

No	資料名及びページ数	質問事項	回答
1		現況の表土、植栽、工作物は全て除染完了済みで通常処分可能と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	通常の処分が可能です。
2		山留について、敷地が狭く引き抜きが非常に困難です。埋め殺しとしても宜しいでしょうか。御指示ください。	将来露出することがなく、法的に問題がないことが確認できれば、残置しても差し支えありません。
3	基本設計図 A-008	土工事残土については場内処分でのよいでしょうか。その場合の処分位置を御指示下さい。また、残土の一時仮置きが可能なエリアがありましたらあわせて御指示下さい。	場内処分とし、処分位置は実施設計で協議するものとします。また、一時仮置き場は配布資料にある関係工事参考資料に示す「新宿泊棟工事業ード」を想定しています。
4	基本設計図 A-011	屋外階段、屋内階段の断面詳細が不明です。矩計図を御指示ください。	以下のとおりとします。 屋内階段:横森製作所 横森DYSP階段同程度 1-2階・・・踏面260mm、蹴上160mm、25段、1回転 2-7階・・・踏面260mm、蹴上160mm、20段、1回転 7-8階・・・踏面260mm、蹴上158.62mm、29段、2回転 屋外階段:横森製作所 横森Z-55階段同程度 1-2階・・・踏面260mm、蹴上160mm、30段、1.5回転 ※パラペット越し(1FL+4,800mm) 2-7階・・・踏面260mm、蹴上160mm、20段、1回転 7-8階・・・踏面260mm、蹴上158.62mm、29段、2回転
5	基本設計図 A-015	天井吊材(7階のみ)吊り型防振材取付とありますが、範囲、鉄骨部材等詳細が不明です。御指示ください。	範囲は7階客室全てです。部材は、既製品の吊り型防振ハンガーです。8階大浴場に対する防振・防音が主旨ですので、機能を満たせる製品を想定下さい。
6	基本設計図 A-017	矩計図(3) 8階室外機置場の天井にコンクリート化粧打放し(素地)と記載がありますが、デッキスラブと思われますので、デッキ現しと読替えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	在来工法または、デッキスラブ露出の場合は、仕上表特記事項に記載のとおり、亜鉛メッキ処理+2-FUE塗装とします。
7	基本設計図 A-018 A-041	北側芝生とコンベンションホール間にタイル舗装が記載されてますが、建屋片持ちスラブ下は緑地ですので、タイル舗装記載部分もヘダラに読み替えて宜しいでしょうか。又、タイル舗装の場合600角LIXILストーンエッジⅡ程度、範囲はW=1,000×L=18,000程度と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	西側歩道から機械室へのメンテナンスルートを計画しており、その部分の床仕上げをタイル舗装としています。 なお、西側歩道のレベル(A-005図参照)が44.25なのに対し、機械室床レベルが44.8のため、55cm程度のレベル差が生じます。段差解消として、メンテナンスルート上に3段分の階段を計画することとし、床はタイル、手摺はなしとします。タイル仕様、寸法はお見込みのとおりです。
8	基本設計図 S-002	鉄骨の製作工場について、Hグレード以上と指定がありますが、地域的な問題で辞退するファブリケーターが散見されます。Hグレード工場は数が少ない為、Mグレードを適用しても宜しいでしょうか。御指示ください。	実施設計で協議するものとします。

No	資料名及びページ数	質問事項	回答
9	基本設計図 A-007 A-011	外部仕上表 屋根(4)において、歩行部はコンクリート平板敷きと記載がありますが、平面図等に記載が無く、コンクリート平板のサイズ、厚み、特に「範囲」が不明です。御指示下さい。	3階から屋根(4)に降りるメンテナンス用階段から受変電設備までと、受変電設備廻りの最低限の歩行スペースに適用します。(約25㎡) コンクリート平板は防水層保護用製品を想定下さい。 (厚みは20mm～25mm程度)
10	基本設計図 A-007 A-010	外部仕上表 外部手すりにおいて、SUS製(FB)鏡面 H1100と記載がありますが、適用場所が不明です。ホテルロビー前ポーチの手摺と考えて宜しいでしょうか。又、手摺の詳細が不明です。部材構成、部材寸法、姿図を御指示下さい。	平面図に「手摺、SUS手摺」と記載している外部手すりに適用します。具体的には、ポーチ部分と屋根(3)に適用となります。 手摺は、FB(フラットバー)で構成(横棧は2本程度)を想定し、詳細は実施設計で検討するものとします。
11	基本設計図 A-012	北・南面 Y1.3通り 袖壁の小口部分において、A部詳細図よりAL FB-6×150とありますが、既製品にFB t=6が無い為、アルミカットパネルt=3と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	アルミFB-6×160もしくは、アルミパネルt5加工のいずれかとします。
12	基本設計図 A-012 A-013	北・南側立面図 Y5通りにおいて、Y1-3間の袖壁同様の凡例G:アルミカットパネルt3がプロットされています。外壁押出成形セメント板の小口にアルミカットパネルt=3×150アクリル樹脂焼付塗装の小口塞ぎ(A部詳細図より)を設置すると考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	Y5通りの押出成形セメント板小口は、モルタル塞ぎ程度とします。 なお、Y1通りとY3+2,430mmの部分はアルミFB-6×160もしくは、アルミパネルt5加工のいずれかとします。
13	基本設計 説明書 A-32	客室開口部の比較表で、グレーの部分が可動障子の枠を表現しているとする、パターン②、③はガラス面で1000φの内接円の開口を確保できないと思いますが、どのような考え方でしょうか。	採用している③について、ガラスを破壊しクレセントを開錠して進入する考えなので、ガラスではなくサッシ開口部として1,000φが内接していれば良いとの想定です。 ②については可動部もしくはFIX部のガラス面で1,000φの内接円が必要です。
14	基本設計 説明書 E-02	防犯設備において、パッシブセンサー等、マグネットスイッチ(別途)、電気錠(別途)とありますが、配線とパッシブセンサーを見込むことでよろしいでしょうか。	配線とパッシブセンサーのみでなく、マグネットスイッチ、電気錠も本工事として見込んでください。